

5 研究機関助成

石川県教員総合研修センター

(所長 杉 中 達 夫)

科学教育の充実に向け、科学教育担当教員の指導力・実験力向上のための研修を実施し、科学教育の振興・発展に努めている。

6 研究奨励 (※は研究代表者)

子どもが創る理科

～関わり合い、追究する子を目指して～

津幡町立津幡小学校 教諭 別宗 美幸*
内灘町立白帆台小学校 教諭 服部 綾子

オンデマンド動画による研究発表を行っています。研究発表動画は、石川県教員総合研修センターWebページ(科学教育関係)から視聴することができます。



科学研究アーカイブスの効果的な活用に関する研究 ～錦丘学びのアーカイブスの効果的な活用～

石川県立金沢錦丘中学校 教諭 田中 祐介*
石川県立金沢錦丘中学校 教諭 堀 祐己
石川県立金沢錦丘中学校 校長 嶋 耕二

物理教育におけるプログラミングの取り組み

ラズベリーパイを用いたロボットの作成

石川県立小松高等学校 教諭 藤田 嵩治

1人1台端末を活用した「主体的に学習に取り組む態度」の評価に関する研究

石川県立寺井高等学校 教諭 米川 拓臣*
石川県立寺井高等学校 教諭 上田 隼也

立体物の理解を助けるAR教材の開発

石川県立金沢二水高等学校 教諭 高縁 貴章

越馬徳治科学賞について

1 趣旨

越馬徳治科学賞は、昭和38年、石川県科学教育振興会の発足と同時に、優れた理科教員を顕彰し、併せて本県科学教育の振興を期して、故越馬徳治会長の寄付を基金として設立された賞である。

発足当初、小・中・高等学校において指導実績に優れ、研究業績も顕著にして少壮有為な理科担当教員を対象として表彰していたが、昭和59年度より児童・生徒の科学活動にすぐれた成果をあげた学校の表彰並びに科学教育の振興を図り実践している学校・研究所等への助成金交付が加えられた。さらに、平成元年度より理科教育の推進に功労のあった教員の表彰が加えられ現在に至っている。

2 表彰・助成・奨励

- (1) 理科教育の振興に努力し、その進展に顕著な業績をあげた教員の表彰
- (2) 理科教育の推進に功績のあった教員の表彰
- (3) 児童・生徒の科学研究活動にすぐれた成果をあげた学校の表彰
- (4) 小・中・高をつなぐ理科教育を積極的に推進している学校への助成
- (5) 科学教育に関する研究所等への助成
- (6) 科学教育担当教員の研究並びに教育機関に属する個人及びグループの研究への奨励

3 過去の教員表彰者数

上記(1)・(2)について令和5年度を含めた総数は、444名に上る。
その内訳は、小学校175名、中学校140名、高等学校129名である。

令和5年度

第61回 越馬徳治科学賞 表彰状授与及び助成金交付式

日時 令和6年2月14日(水)
13:30～14:30

式場 石川県教員総合研修センター大研修室

式次第

- 1 開式のことば
- 2 表彰状及び記念品等授与
個人表彰
功労者表彰
学校表彰
- 3 助成金交付
学校助成
研究機関助成
研究奨励
- 4 あいさつ
石川県科学教育振興会会長 高納伸宏
- 5 来賓祝辞
石川県教育委員会教育長 北野喜樹
- 6 受賞者代表謝辞
- 7 閉式のことば

主催 石川県科学教育振興会

共催 石川県教育委員会

受賞者等の紹介

1 個人表彰

金沢市立長田町小学校　教諭　**中野 正太**

北海道苫小牧市立苫小牧西小学校，小松市立国府小学校，能美市立福岡小学校，川北町立川北小学校，金沢市立西南部小学校を経て現在に至る。研究面では，金沢市小学校教育研究会の活動として，「月の満ち欠けの観察装置の研究」をテーマに研究授業を行った。指導面では，理科担当教員として，児童生徒科学作品展の出品啓発と指導にあたりるとともに，金沢子ども科学財団児童科学教室の指導員として児童の指導にあたった。また，「理科の学習」編集委員，金沢市小学校教育研究会理科部会運営委員高学年責任者を務めるなど，理科教育の振興に貢献している。

金沢市立犀生中学校　教諭　**前田 大輔**

加賀市立東和中学校を初任に，金沢市立紫錦台中学校を経て現在に至る。研究面では，「新しい理科の指導資料」（全国中学校理科教育研究会）の執筆，全国中学校理科教育研究会における「若手教員による実践発表と交流会」及び石川県理科教育研究大会で発表の実績がある。指導面では，理科担当教員として，高峰賞応募生徒や石川県中学生サイエンスチャレンジ等の参加生徒の指導にあたりるとともに，金沢市教職員研修において理科実技の講師を務めた。また，金沢市中学校教育研究会理科部会の幹事長や，石川県理科教育研究協議会の事務局長を務めるなど，理科教育の振興に貢献している。

石川県立七尾高等学校　教諭　**中村 晃規**

石川県立金沢伏見高等学校を初任に，現在に至る。研究面では，全国理数科教育研究大会や石川県理科教育研究大会で発表の実績がある。指導面では，全国高等学校総合文化祭自然科学部門，北信越地区自然科学部研究発表会等への参加生徒の指導にあたりるとともに，高校生バイオサミットin鶴岡の参加生徒を指導した際には，文部科学大臣賞の受賞へと導いた。また，金沢子ども科学財団おもしろ実験・観察教室の講師として児童生徒の指導にあたった。さらに，石川県高等学校教育研究会生物部会の地区理事や，石川県高等学校文化連盟自然科学専門部の理事を務めるなど，理科教育の振興に貢献している。

2 功労者表彰

金沢市立三馬小学校　校長　**井表 照雄**

能都町立鶴川小学校を初任に，松任市立北陽小学校，野々市町立野々市小学校，美川町立美川小学校，石川県教育センター研修生（内地留学），バンコク日本人学校，金沢市立粟崎小学校，同額小学校，輪島市立大屋小学校教頭，金沢市立大浦小学校教頭，同大野町小学校校長を経て現在に至る。研究面では，「メディアを活用した理科の学習」をテーマに教育メディアコンテスト奨励賞の受賞，理科授業を面白くするアイデア大百科「6熱・化学の教材開発と指導のアイデア」の作成協力の実績がある。指導面では，金沢市立明成小学校等の公開研究発表会において，研究授業の指導・助言者を務めた。また，石川県理科研究大会金沢大会の大会委員長，金沢市小学校教育研究会理科部会の部長，石川県理科教育研究協議会の会長を務めるなど，理科教育の推進に貢献している。

羽咋市立羽咋中学校　校長　**宮下 裕樹**

志賀町立高浜中学校を初任に，押水町立押水中学校，金沢大学教育学部附属中学校，羽咋市立邑知中学校，石川県教育委員会事務局学校指導課指導主事，宝達志水町立押水中学校，輪島市立上野台中学校指導教諭，同輪島中学校指導教諭，同輪島中学校主幹教諭，奥能登教育事務所指導主事，同指導課長，志賀町立志賀中学校校長を経て現在に至る。研究面では，金沢大学附属中学校教育研究発表会での公開授業及び研究発表，石川県理科教育研究大会での公開授業などの実績がある。指導面では，理科担当指導主事として，理科教育に関する指導・助言にあたった。また，石川県理科教育研究大会羽咋大会の事務局推進副委員長，羽咋市教育研究会理科部会の部長を務めるなど，理科教育の推進に貢献している。

石川県立鹿西高等学校　校長　**杉澤 寿治**

石川県立金沢二水高等学校を初任に，同金沢辰巳丘高等学校，同金沢桜丘高等学校，石川県教育委員会事務局教職員課管理主事，石川県教育センター企画調査課担当課長，同課長，石川県立金沢二水高等学校教頭，同副校長，石川県教育委員会教員確保・指導力向上推進室次長を経て現在に至る。研究面では，生活化学実験研究会の活動を通して，理科の実験の進め方や教材開発などについて研究を行った実績がある。また，石川県理科教育研究協議会の幹事，石川県高等学校教育研究会地学部会の部会長，石川県科学教育振興会の常任理事を務めるなど，理科教育の推進に貢献している。

3 学校表彰

小松市立芦城小学校　（校長 向出裕幸）

当该校は，令和2～4年度「小松市学力向上推進事業～理科・生活科～」の指定を受け学校研究を行ってきた。子どもたちが試行錯誤し，考えたくなる，わくわく感のある授業づくりを目指してサイエンスヒルズこまつとの連携授業を実施し，学校ではできない実験や観察を通して，科学への学習意欲を高めるとともに理解を深める取組を行っている。また，その連携授業を単元のどこに位置づけると効果的なのか，単元を見通した教材研究に重点を置き，子どもが課題を自分事として捉え，授業に向かえるよう研究を進めてきた。つきたい力を明確にして教材研究を深め，ICTを効果的に活用した授業研究も行っている。令和5年度は，創立230周年を記念して，サイエンスショーを開催し，科学の楽しさや不思議さを子どもたちに体験させる取組を行っている。

七尾市立七尾中学校　（校長 山原真吾）

当该校は，七尾市立御祓中学校，七尾市立朝日中学校，七尾市立田鶴浜中学校が統合した学校で，今年で開校7年目になる。前身である各校とも環境教育や科学教育に力を入れてきた学校である。これら前身校の伝統を引き継ぎ，当该校では科学研究にも積極的に取り組んでいる。夏季休業中には生徒の科学研究のために，実験器具の貸し出しを行っており，毎年多くの生徒が科学研究に取り組んでいる。さらに，当该校には科学部があり，科学的な疑問の解決に向けて探究活動に取り組んでいる。また，地域の河川を対象に，水生昆虫やバクテテストによる水質調査を行うなど，意欲的に活動を行っている。平成29年度，平成30年度には，七尾市児童生徒科学研究発表会に科学部として参加し，活動の成果を発表している。

遊学館高等学校　（校長 嶋田司）

当该校は，普通科の全日制の高等学校である。2年次からの文理選択に加えて，卒業後の進路に合わせて，コース選択を行っている。当该校の理科部では，文系，理系，コースの枠にとらわれず，さまざまな生徒が所属しており，物理，化学，生物，地学の分野に関わらず，興味・関心に応じて，実験や観察を行っている。また，理科部員は，石川県高等学校文化連盟自然科学専門部総合文化祭行事「高校生のための実験・実習セミナー」に参加し，普段は体験できない大学等での校外学習により，大学進学への意欲の向上や自身の成長につなげている。さらに，令和4年度石川地区中学高校生徒化学研究発表会では活動の成果を発表し，奨励賞を受賞している。

4 学校助成

中能登町立鹿島小学校　（校長 宮下慶子）

中能登町立中能登中学校　（校長 水谷内良郎）

石川県立鹿西高等学校　（校長 杉澤寿治）

令和6年度に七尾市・鹿島郡で開催する，第61回石川県理科教育研究大会の公開授業担当校として，小・中・高等学校をつなぐ理科教育を積極的に推進している。